

株式会社滋賀銀行 様

「Documal」を導入し行内の文書を一元化
 利用者の利便性向上と管理業務の効率化に貢献

金融機関では事務規程をはじめ事務取扱要領、契約書など、膨大な種類と数の文書が存在するとともに、コンプライアンスへの取り組み強化、さらに銀行の取扱商品の拡大にともなう文書の増加など、文書管理は大きな課題となっています。

株式会社滋賀銀行(以下、滋賀銀行)様では、早くから文書のデータ化に取り組んできました。しかし、紙からデータへの置き換えはある程度進んだものの、業務改善に十分に活かしているとは言えませんでした。そこで、富士通システムズ・ウエストの文書管理・ワークフローシステム「Documal(ドキュマル)」を導入。文書データを一元管理し、Webブラウザ環境下で閲覧可能にすることで、利用者の利便性向上と管理業務の効率化などに貢献しています。運用を続けながら、他システムとの連携などさらなる一元化を進行中です。

導入前の課題

行内の文書が別々のシステムで管理されている。

規程を紙に印刷して営業店に配布・ファイリングしていた作業を効率化したい。

事務規程の見直し・改訂作業に手間がかかっている。

導入後の効果

文書データを統一し文書管理システムに移行することで文書の一元管理を実現。

Webブラウザで閲覧可能にすることでペーパーレス化を実現するとともに、紙文書を差し替えるタイムラグもなくなり、常に最新版の規程が参照できるようになった。

文書の改訂や廃止作業を電子化することで、承認、改訂業務をスムーズに行い、業務のスピードアップを実現。

「Documal」を導入し、 文書管理システムを統合・リブレース

滋賀銀行様の文書管理への取り組みは早く、2000年頃からシステムを導入しデータ化を行ってきました。しかし、「事務規程や事務取扱要領を管理するシステムと、契約書のシステムは別々で、様々な問題を抱えていました」と語るのは業務統轄部事務企画グループ調査役の中村啓様。前者はワープロソフトのOASYSを使って登録するシステムで、文書をWordで作成するようになっ



業務統轄部 事務企画グループ調査役
中村 啓様

ても、「システムに登録するために、わざわざOASYSで入力していた。また、検索機能はあるもののファイル名検索しかできず、規程一つ探し出すのにも非常に手間と時間がかかっていました。」とのこと。後者は、「システムに契約書を登録していましたが、書式やレイアウトが統一されておらずサイズもバラバラで、用紙のサイズごとに管理している状態でした。」と中村啓様。旧システムはかなり老朽化し、サポート切れを機にDocumalを導入し、文書管理システムを統合・リブレースすることになりました。

既存文書のデータ化作業も、 ツールを使って効率良く移行完了

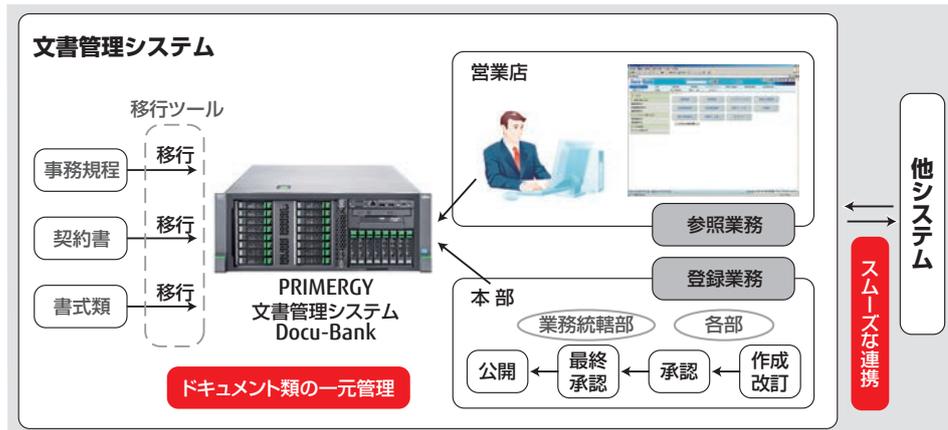
Documalを選ばれた理由を中村啓様は、「WordやExcelで作成された現行の文書

データを、HTMLに自動変換し公開するWebシステムなので操作性に優れていること、今後の展開を考えたとき、当行の他のシステムともスムーズに連携できると判断したから」と語ります。

文書管理システムを導入する際、既存文書のデータ化が大きな負担となります。滋賀銀行様の場合は、数百の紙文書と1万数千ファイルに及ぶ膨大なデータ量でしたが、バラバラなレイアウトを見栄えの良い統一したものに調整するとともに、移行ツールを使って効率化を図り、わずか3カ月でデータ化作業を



業務統轄部 部長
中村 敏明様



終え新システムへ移行。そして『Docu-Bank』という愛称で新文書管理システムが本稼働しました。

業務の効率化、ペーパーレス化など、多くの導入メリットを提供

新システムの導入によって、多くのメリットを提供しています。

まず挙げられるのは、利用者の利便性向上と業務の効率化です。常に最新の事務規程が各自のPCから閲覧可能となるとともに、パワフルな検索機能によって必要な文書を探す時間を短縮。また、ペーパーレス化によって、紙への印刷および各営業店への配送業務が不要になったほか、紙文書を差し替えるタイムラグもなくなりました。「紙代や印刷代、デリバリーなど直接的なコストのほか、差し替えや廃棄にかかっていた手間と人件費を考えるとコスト削減効果は大きいですね。一方、文書の作成や修正もテンプレートを使うことで標準化されたほか、承認や

確認も業務画面でスムーズに処理できるようになりました」と導入効果を強調されるのは、業務統轄部部長の中村敏明様。さらに「導入後は事務規程の更新日を知らせたら、その日に最新版を見るようになり、意識改革にもなりました」（業務統轄部次長兼事務集中センター長の大島渉様）とも。

他システムとのスムーズな連携に期待 行内すべての文書を一元管理する計画

「文書の一元管理ができて他のシステムから呼び出せなかったり、専用のインターフェイスがないと操作できないというのでは使い勝手が悪い。その点、DocumalはシンプルなWeb基盤で作られているので、他のシステムとスムーズに連携できるところが非常に優れていると感じています」と語るのは、システム部システム開発グループ調査役の今井和喜様。

なかでもカスタマイズして追加した個

別文書呼び出し機能が、「非常に役に立っている」と高い評価をいただきました。「窓口でお客様とご相談する際はCRM支援システムを使うのですが、例えば契約書をすぐに画面に出したいときは、わざわざDocu-Bankにログインしなくても、CRM支援システム上で文書のリンクをクリックするだけで直接呼び出せるようにしました。それまではCRM支援システムの中にも二重に文書を持っていたのですが、その必要がなくなり、そして何よりスピーディな接客が可能になりました」（今井様）。

今後の展開として、融資支援システムの文書をDocu-Bankへ移行する予定。さらに「その他のシステムが持っている文書もすべてDocu-Bankで一元管理していく計画です」（今井様）と、大きな期待を寄せられています。

お客様概要

株式会社 滋賀銀行様 **滋賀銀行**

- 所在地／滋賀県大津市浜町1-38
- 設立／1933年10月1日
- 資本金／330億円(2012年3月)
- 代表者／代表取締役頭取 大道良夫
- 預金等／4兆0,990億円(2012年3月)
- 従業員数／2,324名
- 事業内容／普通銀行業務(預金、貸出、内国・外国為替、証券、その他付随業務)
- 事業所／店舗:全139店。
駐在員事務所:上海、バンコク
- URL／<http://www.shigagin.com/>

滋賀銀行は、全国トップクラスの人口増加率や活発な工場立地など経済成長著しい滋賀県を地盤に、預金・貸出金とも40%を超える圧倒的な県内シェアを誇っており、近江商人の哲学である「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の哲学にのっとり、「地域社会との共存共栄」を使命としています。



滋賀県大津市にある滋賀銀行様本店



株式会社滋賀銀行の皆様と富士通システムズ・ウエストプロジェクトメンバー

お問い合わせ先

株式会社 富士通システムズ・ウエスト

第三運用管理ソリューション部 Documal担当
TEL: 03-6424-9326 (東京) 082-207-0376 (広島)
E-mail: documal@cs.jp.fujitsu.com

[URL] <http://jp.fujitsu.com/fwest/services/documal/>